

巖神青

平成二十六年三月十一日

東日本大震災 物故者慰霊祭

未曾有の被害を及ぼした東日本大震災より三年の月日が経った平成二十六年三月十一日、各地で物故者慰霊祭が執り行われた。



星廻宮神社境内で行われた慰霊祭

【福島県・東北六県主催】

福島県いわき市・星廻宮神社境内においては、東北六県神道青年協議会主催、福島県神道青年会主管による慰霊祭が斎行され、当会からは吉田会長が祭員として奉仕した他、菅原副会長以下六名の会員が参列した。地震と大津波により奪われた多くの尊い命。その御霊の安らかなることを祈り祭儀は厳粛の内に斎行され

震災発生時刻には黙祷が捧げられた。

【大船渡市・気仙支部主催】

大船渡市三陸町越喜来・先浜漁港においては、岩手県神社庁気仙支部主催による慰霊祭が斎行され、伊藤副会長以下五名が助勢、祭員・伶人奉仕した。

祭儀には約一〇〇名が参列。気仙支部員の奉仕により、震災で亡くなられた

方々の鎮魂と被災地の一日も早い復興の祈りが捧げられた後、特設舞台において早池峰神楽「岳神楽」による追悼の舞が奉納された。

終了後は陸前高田市の今泉天満宮に場所を移し、慰霊碑の前において支部員・青年会員による大祓式が執り行われた。



気仙支部 慰霊祭

慰霊祭を執り行い、御霊に奉慰の誠を捧げ、被災地の復旧・復興を祈ることは、同時に震災の風化を防ぐことにも繋がる大切なことである。東北六県神道青年協議会主催の慰霊祭については、来年は岩手県神道青年会が主管となつて斎行される予定である。当会が一枚岩となり、斎行に向け尽力に努めたい。

平成二十六年定期総会
決算・予算を承認
六十五周年記念事業も

去る平成二十六年五月十六日（金）午後四時から、定例の標記総会が、県神社庁二階大講堂を会場に開催された。

総会では藤原庁長が来賓として挨拶し、先輩諸兄が取り組んできたように、青年会として特に時局に応じ



会議風景

た活動に活発に取り組んでいただきたいと激励をいただいた。

議事では菅村常任委員が議長となり、平成二十五年会務報告、同収支決算、東日本大震災復興活動報告・特別会計収支決算、平成二十六年活動方針、同

宮城県 大島神社
復興支援活動

去る五月二十二日（木）

宮城県石巻市鎮座の大島神社境内において、東北六県神道青年協議会主催（山形県神道青年会主管）にて復興支援活動が行われた。

大島神社境内とその周辺地域は、来年度末を目前に「かさ上げ工事」などの護岸工事が計画されており、

予算がそれぞれ上程され承認・決定された。

引き続き、創立六十五周年記念事業の件が上程され、菅原実行委員長より趣旨・事業等が説明され、（詳細は次ページを参照）承認された。また、内容は六十五周年記念事業実行委員会で検

景観が変わる前に氏子、子供たちの楽しい思い出を基に郷土愛を育んでいただき、復興の一助となることを目的として開催された。

当県からは吉田会長以下七名が参加し、特産品の頒布や縁日体験などの助勢を行った。

当日は献灯（ろうそく作り体験舎）や川村かなえ氏によるクリスタルボウル演奏も行われ、大島神社には「本当に楽しかった」「もっ

討が重ねられているが会員の皆様にも奮って参加いただきたいと挨拶があった。

約二時間にわたる総会の終了後は、場所を市内の居酒屋に移し、藤原庁長、坂本副庁長、新山参事を来賓に迎え、懇親会が開催された。

と神社のことを残していければ良いのに」という声が寄せられ、無事に終了することが出来た。



創立六十五周年記念事業 実行委員会設立

「瑞穂の国 復興の米作り」等の事業を計画

岩手県神道青年会は昭和二十四年、民族精神の恢復と国家再興を目指し、先輩諸賢の赤誠を以て発足してから、平成二十六年三月二十日に創立六十五周年の佳節を迎えた。

創立六十周年から五年が経過した中で、私達青年神職は微力ながら未曾有とも言える震災からの復興に心を寄せ支援活動に邁進して参った。

その中で、震災から三年が経過し日々復興への歩みが進む中で、この佳節を迎えたことは、今までの活動を振り返り、更なる復興へ、そして次世代へ私達の思いを受け継ぐ大切な時として過去に例の少ない五周年の記念事業が企画された。

去る二月二十日の第五回役員会に於いて実行委員会

の設立が承認され、三月二十日には第一回の実行委員会が開催となり、現在は主題、趣旨、記念事業等について協議が進んでいる。記念事業については随時ご案内されとのこと。奮って御参加頂きたい。

「今後の予定」

四月 第二回実行委員会

五月 第三回実行委員会

記念事業



○創立六十五周年

実行委員会
(敬称略)

相談役

荒木 道明

実行委員長

菅原 政憲

副委員長

菅村 孝一郎

実行委員

高橋 数馬

藤原 大修

谷藤 大典

田村 清子

小田島 崇道

榊原 裕一

菅原 しずか

多田 宜史

多田 明訓

橋本 健太

生内 友佳子

勝田 恭介

菊池 祥隆

佐々木 浩明

幹事
事務局



代表による手植え

お田植祭 齋行

五月三十一日(土) 創立六十五周年記念事業の「瑞穂の国 復興米作り」の最初の事業となる「お田植え祭」が稲葉神社菊池宮司の御協力の下、会員、神職子弟等四十二名の参加の下、開催された。
当日は好天に恵まれ、午後二時より菅村常任委員を齋主に神事、早乙女と子供



代表二名が御神田にお田植えを行い、次いで菊池宮司より指導をいただき、会員と子供が泥まみれになりながら、丁寧な一本一本手植えを行った。
菊池宮司、志賀理和氣神社田村宮司より差し入れのこびるをいただき、秋の収穫の際の再会を期して解散となった。



にて大会資
料等の搬入、
会場内外の
設営を主と
した活動を行
った。

県建国記念日奉祝会が主催している建国記念の日大会には、当会は例年、大会周知の街宣活動を行っているが、本年は独自に啓発活動として県内を巡り、また当日は運営スタッフとして助勢活動を行った。
啓発活動は、一月末から二月上旬にかけての三日間、内陸・沿岸を会長以下が各社を訪ね、ポスター等を配布した。
大会当日は岩手県民会館

建国記念の日奉祝大会
活動について

岩手県神社庁主催
青年神職研修会

平成二十六年二月二十六日（水）午後一時より、県神社庁主催の青年神職研修会が開催された。今年度のテーマは神宮・遷宮であり、神社本庁本宗奉賛課長の高田淳史先生を講師に迎え「遷宮後の国民総参宮にあたって」と題し、講義をいただいた。

高田先生は、午前中の講義で、神宮・遷宮の概要について話を進めた後、午後

の講義では、式年遷宮広報本部の事務局もお勤めされたことから、今回の遷宮にあたって、広報活動に力点をおいたことをご説明された。シンボルマーク・標語の募集から、歌手の藤井フミヤさんによる遷宮奉祝曲

「鎮守の里」、東京・福岡で開催された大神社展等々を紹介し、多くのマスコミが報道し、参拝客が急増したことは広報活動の成果の一つではないかとまとめた。

終わりにあたり坂本副庁長より、次回の遷宮で中心となる我々青年神職に対し激励をいただき、研修会が終了した。夜は場所を魚將に移し、講師先生、稲田・坂本両副庁長と会員が酒を酌み交わし懇親を深めた。



岩手県神道青年会主催
青年神職研修会

平成二十六年三月二十日（木）、遠野郷八幡宮鳩集殿に於いて神道青年会主催の研修会が開催され、当会から荒木顧問、吉田会長をはじめ十三名の青年会員が遠野の地に参集した。

研修会は「支援の歩み」～遠野市後方支援から学ぶ」と題し、第一講では小鍬神社宮司・松橋知之先生による「大槌の復興」についての講演を、第二講では遠野市長・本田敏秋先生による「遠野市の後方支援活動」についての講演をいただいた。

東日本大震災から早くも三年の月日が流れた今日現在、沿岸被災地域では未だ復興には程遠く、多くの被災者が今も不安を抱えながらの生活を余儀なくされている。このような現状の中、岩手県神道青年会ではこれからどのような復興支援活動を行えるのか。どのような復興支援活動がこれから求められるのか。今回の研修は、岩手県神道青年会にとつて今後の復興支援活動の大きな支えとなるように思う。



遠野市長 本多敏秋先生の講演

神政連時局対策連絡会議
河野談話等主題に

神政連の第十二回時局対策連絡会議が二月二十四・二十五日の両日開催され、青年隊代表として菅村・小野寺両常任委員が参加した。今回の会議は、昨年宮内庁が発表した「今後の御陵及び御葬儀のあり方について」や、平成五年の「河野談話」などについての問題意識を共有し実効的な国民運動を推し進めることを趣旨として開催された。

参加した兩名は「大変勉強になった。青年会の皆に広めていきたい」と語り、帰宅の最新幹線で論議している間にいつの間にか岩手県に着いていた程の熱い思いを胸に秘めた。

親睦を図り
ボーリング大会開催

去る二月二十日、盛岡スタレーン（盛岡市中野）にて岩手県神道青年会役員懇親ボーリング大会が開催され懇親を深めた。通例では、役員会終了後は懇親会が行われていたが、今回は役員同士の尚一層の懇親を深めることを目的として、役員会後の懇親会に先立ちボーリング大会を開催するに至った。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、優勝した高橋常任委員には会長よりトロフィーが贈呈され、大会は幕を閉じた。

このような新たな試みは、岩手県神道青年会が一枚岩となり行動していくための

活動の一つとして、今後も継続されていくことを願う。

上半期予定
五月十六日
平成二十五年度定時総会
五月三十一日
創立六十五周年記念事業
「お田植之行事」
六月十一日～十二日
東北六県神道青年協議会
禊錬成会（秋田県）
六月～八月
御神田整備作業
六月下旬
第一回役員会
八月上旬
第五回親子禊錬成会

○編集後記
若葉の萌ゆる季節、田や畑では農作業に汗を流す人の姿が多く見られるようになりましたが、近頃は連日猛暑日が続いております。体調には十分気を付けて頂きたいと願う今日この頃です。

創立六十五周年記念事業も着実に準備が進められております。皆様には事業の推進にご理解とご協力をいただきまます様よろしくお願いを申し上げます。

また、岩神青ホームページにつきましては、今回全面改訂を進めております。ご期待下さい。(し)

発行 岩手県神道青年会
住所 盛岡市八幡町十三番一号 盛岡八幡宮社務所内
電話 〇一九・六五二・五二一一
FAX 〇一九・六五二・五二二二